

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	本人や家族の意向や希望が掴めていないため、ひとりひとりを生活の中心にしたケアが行えていない。	日常生活の中心にひとりひとりが位置づけられ、生き活きとしたその人らしい生活が創られる。	本人および家族からの意向や希望を収集・集約してどのような生活を望まれているかを理解・把握する。その上で、本人の楽しみとなる機会を作ったり、何らかの役割を担うことなどを通し、個人として大切にされ充実感のある生活を送ることができる。	6ヶ月
2	49	一人一人の希望に添った外出の援助はほとんど行えておらず、また日常的な戸外への散歩の機会も限られている。	ひとりひとりの出かけたい場所や行いたいことを把握し、実施可能なことは計画的に実施していく。日課として、散歩としての外出を組みこむ。	ひとりひとりの希望の確認を行い、ご本人が意思の表明が困難な場合、最も本人を理解している家族・キーパーソンに確認し意向を把握する。実現可能な範囲において実施できる体制を整える。	6ヶ月
3	45	職員の勤務状態等の都合により、安定して週3回の入浴を行うことができていない。	入浴の曜日や時間帯が、多少ご本人の希望とずれることがあっても、週3回の入浴は実施していく。	曜日による入浴者の割り振りにこだわらず、週単位での職員の勤務予定をもとに柔軟に入浴計画を対応させて、週に3回の入浴を実現する。	3ヶ月
4	6	玄関や非常口に電子錠を使用し、入居者の自由な出入りを制限している。	電子錠を解除して自由に出入りができる環境を作る。	日中の職員数の多い時間帯での電子錠の解除を行うことから開始し、外出欲求を充足することや施設内での本人の落ち着き場所がつけられることで、電子錠を解除しても危険のない環境を作る。	3ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。